

びるめん ニュース あいち

Vol.344

2017 / 12



Building Maintenance News AICHI

発行・編集

一般社団法人愛知ビルメンテナンス協会 広報・会員増強委員会

E-mail aichibm@lilac.ocn.ne.jp / URL <http://www.aichi-bma.jp>

〒460-0008 名古屋市中区栄2-1-10 伏見フジビル8階

TEL 052-265-7536 / FAX 052-265-7537



「過労死をゼロにし、健康で充実して働き続けることのできる社会の実現を目指して」

愛知労働局労働基準部監督課長 橋本 泰明 (はしもと やすあき)

一般社団法人愛知ビルメンテナンス協会会員企業の皆様には、日頃より愛知労働局の行政運営に多大なご理解とご協力を賜っており、厚く御礼申し上げます。

今回は、労働行政運営上の最重点課題の一つ、過労死等防止について触れさせていただきます。

平成26年11月に施行された「過労死等防止対策推進法」によって、「過労死」という言葉が初めて法律に盛り込まれました。「過労死等防止対策推進法」において11月は「過労死等防止啓発月間」とされており、厚生労働省では、同月間において過重労働解消に向けた集中的な周知啓発等の取組を行っております。

今年のスローガンは、「トップが決意を持って、長時間労働の削減に向けた取組を推進しましょう」でありました。

過重労働対策に取り組み、事業規模拡大や人材の獲得、業務効率や労働意欲の向上などの取組効果をあげられる企業の“対策に取り組んだきっかけ”をいくつか紹介いたしますと、「新卒者採用現場では、“残業が多い会社は選ばれない、入社しても退職要因となり得る”傾向を示し、苦戦していた。」「ニュース報道で過重労働が注目される昨今、労務環境の整備は急務であり、会社存続のリスクになることは明白と感じた。」「事業の成長が停滞期になっていた頃、ある従業員が体調不良を理由として休みがちとなり、数ヶ月後に退職した。当時会社のトップは、よくある

自己都合退職を決め付けていたが、ふと社内を見渡してみると、会社全体に活気がなく、誰も皆覇気のない表情をしていることに気付いた。この状況に愕然とし、これは会社自体に問題があると考え、取組がスタートした。」「時代の変化・変遷とともに、コンプライアンス遵守の認識の共有が求められていて、人件費負担増加の抑制のためにも“残業をしない、させない”という意識改革の必要性を感じていた背景から、抜本的な取組を決意した。」などと様々であります。共通しているのは、過重労働の問題を人材確保や人材育成、ひいては事業経営に直結する経営課題と捉え、経営トップのリーダーシップのもと、労使一体となって働き方の見直しに取り組まれていることでございます。

「過労死等防止啓発月間」は11月で終わりますが、過労死等の原因の一つである長

時間労働を削減し、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）を図るとともに、労働者の健康管理に係る措置を徹底し、良好な職場環境や職場風土を形成の上、労働者の心理的負荷を軽減していくことは急務となっております。

過労死をゼロにし、健康で充実して働き続けることのできる社会の実現を目指し、経営トップのリーダーシップのもと、労使一体となって、長時間労働の削減をはじめとする過重労働対策に積極的にお取り組みいただきますよう、あらためてお願い申し上げます。



清掃管理担当者・設備管理担当者 合同研修会

平成29年10月24日(火)午前9時30分から大成(株)研修センターにおいて、建物清掃管理委員会と建物設備管理委員会の合同研修会が開催されました。

講習は、セントラルトリニティ株式会社の協力を得て、「身近な感染症(ノロウイルス・インフルエンザなど)と話題の外来生物(ヒアリ・セアカゴケグモなど)におけるその対策」と題し、「感染症対策について」、「話題の外来生物と危険な生き物」、「建築物におけるハト防除」の3つの項目について実状を踏まえ分かりやすく説明を頂きました。

感染症が発生した際は早期対策が最も大切であり、その為にも「知識や情報の獲得」と「緊急時対応の準備」が大変重要となります。また、今話題の「ヒアリ」「セアカゴケグモ」「スズメバチ」などの特徴やその調査方法・対策が示され、さらに「ヒアリ」のサンプルなども展示されており、参加者は手に取るなど関心を寄せていました。



清掃作業従事者研修(中級者コース)

平成29年度の清掃作業従事者研修(中級者コース)が11月8日(水)午前9時40分から大成(株)研修センターにおいて38名の方に参加頂き開催されました。この研修で使うテキスト「清掃作業従事者研修用テキストI・II」は、今年の6月に「個人情報保護と守秘義務」や「災害発生の仕組みと災害災害防止」の項目が追加されるなど改訂版が発行されております。研修の最後に、栢森聡講師(シーバイエス(株))から、様々なサンプルを示しながら「第三の床維持管理手法」について講義がありました。

	時 間	科 目	講 師	
1	9:45 } 10:15	40分	清掃作業を中心とした 建築物衛生法等	大島 渡氏 元県職員
2	10:25 } 11:45	90分	清掃用機械器具・資材の 使用方法(場所別)	村上 寛彦氏 コニックス(株)
3	12:40 } 14:30	120分	清掃用機械器具・資材の 使用方法(床材別)	坂口 菊生氏 タイガー総業(株)
4	14:40 } 15:30	60分	環境問題	時松 英樹氏 中日コプロ(株)
5	15:40 } 16:30	60分	作業従事者の心得、 清掃作業の安全と衛生	川口 弘之氏 名鉄クリーニング(株)
6	16:40 } 17:25	45分	清掃技術 「第三の床維持管理手法」	栢森 聡氏 シーバイエス(株)



勝野委員長 ご挨拶

貯水槽清掃作業従事者研修

貯水槽清掃作業従事者研修が平成29年11月21日(火)午前9時30分から大成(株)研修センターにおいて、建物設備管理委員会の首藤 健委員長のあいさつで開講し、87名が講義を受講しました。建築物の環境衛生行政、給水設備と機器、貯水槽の消毒方法などについて、4人の講師から講義を頂きました。

最後に受講者全員に修了証が交付され、予定通り終了しました。

	時 間	科 目	講 師	
1	9:30 } 11:00	90分	建築物の環境衛生行政	大島 渡氏 元県職員
2	11:00 } 12:30	90分	給水設備と機器	鈴木 操氏 (株)川本製作所
3	13:15 } 15:15	120分	・貯水槽の消毒方法 (貯湯槽含む) ・貯水槽の塗装方法 ・作業の安全と衛生	山口 義浩氏 三永ビルド(株)
4	15:15 } 17:00	105分	・貯水槽の清掃方法 ・作業従事者の責任と任務	横井 学氏 東名サニタリー(株)



首藤委員長 ご挨拶

普通救命講習Ⅱ

普通救命講習会が10月30日(月)及び11月29日(水)の両日、昭和消防署4階にある名古屋市応急手当研修センターにて25名の方の参加を頂き開催されました。

この講習会では、①成人に対する心肺蘇生法、②AEDの取扱い方法、③異物除去要領、④止血法など、約4時間かけてダミーを使い実際に体験する訓練が行われました。

AEDの取扱いは、「使い方が分からない」人や「失敗するのが怖く応急手当ができない」人が多いようです。心肺蘇生やAEDなどの応急手当は、講習を受けるなど経験がなければ、いきなりその場で実践することはできません。今後も継続して開催致しますので機会があれば繰り返し講習に参加頂ければと思います。



ビルメンヒューマン & クリーンEXPO2017

平成29年11月15日(水)～17日(金)の3日間 東京ビッグサイトにおいて、ビルメンメンテナンス業界の社会的地位向上とイメージアップを目的として隔年で開催され続けてきた『ビルメンヒューマンフェア』と、清掃技術の専門展示会である『クリーンEXPO』が、今年度から(一社)日本能率協会との共催により、装いを新たに「ビルメンヒューマンフェア&クリーンEXPO2017」として合同開催されました。

業界全体が抱える様々な問題をテーマとしたセミナーや、日本ガラスクリーニング選手権ドリームマッチ、第15回全国ビルクリーニング技能競技会などの催しに加え、229ブースの出展があり、3日間で10,130名もの多くの参加者で大いに賑わい、来年以降の開催も期待されつつ閉会されました。



第15回全国ビルクリーニング技能競技会

平成29年11月16日(木)、「ビルメンヒューマンフェア&クリーンEXPO2017」のメインイベントの一つでもある「第15回全国ビルクリーニング技能競技会」が開催されました。全国9地区の激戦を勝ち抜いてきた18名が日頃の成果を十分に発揮された見事な大会となりました。また選手毎の応援合戦も地域色が現れたチームも多く、大会を大いに盛り上げていました。中部・北陸地区を代表して出場された杉尾和磨選手(中日コプロ株)は惜しくも入賞にはなりませんでした。洗練された機敏な作業に多くの観客を魅了していました。



クリーンフォーラム

「東京五輪を見据えた宿泊業界における清掃業務の生産性向上」～宿泊、清掃、ロボット分野有識者によるパネルディスカッション～
 経済産業省の田中幸仁氏をコーディネーターとし、当協会の会長であり、業界の中でも早くから業務用清掃ロボットの導入をされ、常に革新的な取り組みをされておられる加藤憲司会長がパネラーとして参加されました。東京五輪を見据え宿泊業、ビルメンメンテナンス業の人材不足による喫緊の課題を、ロボットといかに共生していくのか各分野の有識者により熱い議論が交わされました。恒

常的な人材不足と労働力の高齢化の中で、ロボットだけで問題解決の切り札になることは難しいが、ロボットを一つの道具と捉え、人とロボットが共生していくため業界とメーカーの双方で更なるチャレンジが必要であるとされました。



第37回全国アビリンピック (全国障害者技能競技大会)

平成29年11月17日(金)～19日(日)の3日間、(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構と開催地となった栃木県の主催で第37回全国アビリンピックが開催されました。

18日(土)に行われたビルクリーニング競技では、栃木県立特別支援学校宇都宮青葉高等学園の体育館でカーペット床清掃と、弾性床清掃及び机上清掃の2つの課題で行われ、45名の選手が日々の練習で習得した技術をそれぞれ披露されていました。

愛知県より選出された後藤梨佐選手(コニックス株)は惜しくも入賞にはなりませんでした。その美しい所作に会場の注目を浴びておられました。



一斉清掃活動(社会貢献活動)

社会貢献イメージアップ委員会

平成29年11月24日(金)10時から、113名にも及ぶ参加者により、錦3丁目・住吉・女子大小路・セントラルパークの4ブロックに分かれ、お揃いのブルズンを羽織り、社会貢献事業の一環として、会員による一斉清掃活動が実施されました。当初予定していた14日は雨天だったため、この日となりましたが、大勢の方の参加を頂き開催されました。各人軍手と火はさみを手に、ゴミ袋が一杯になるまで熱心に清掃活動を行いました。参加いただいた皆様、大変ご苦勞さまでした。来年もよろしく願いいたします。



お心当たりがございましたら、ぜひご紹介ください。

愛知ビルメンテナンス協会 会員増強キャンペーン

普通会员の入会金が...

通常入会金 ¥206,000円

15万円ディスカウント

お申込み期間 平成29年10月1日～平成30年3月31日

◇入会審査書類も簡素化を図り、さらに入会しやすくなりました。

※上記期間中に当協会「普通会员」に入会された方が対象です。

※別途:会費月額17,000円、全国協会の入会金50,000円及び会費月額10,000円が必要となります。

今だけ5万円
6ヶ月間割引

理事会・各種委員会

◆第7回 広報・会員増強委員会

開催日時 平成29年11月22日(水) 午前11時～12時

開催場所 協会事務局 会議室

出席者 酒井委員長始め3名の出席を得て以下について協議

- ・びるめんニュースの編集について
- ・会員増強策の広報活動について

◆第8回 理事会

開催日時 平成29年11月22日(水) 午後1時30分～3時20分

開催場所 協会事務局 会議室

出席者 加藤会長始め14名の出席を得て、加藤会長が議長となり審議を行った。

主な審議事項 労働安全衛生大会の講演について

報告事項 (委員会報告/全協報告/地区本部報告/事務局報告)

平成30年1月の予定

睦月

- 16日(火) 広報・会員増強委員会
- 24日(水) 理事会、新年賀詞交歓会

- 25日(木) 品質向上特別委員会ワーキンググループ会議

会員の動き

12月1日現在会員数

普通会员 121社 賛助会員 20社

普通会员

年月	会員名	異動(変更)事項	異動内容
29.11	名古屋昭和建物サービス(株)	代表者・登録者住所 電話番号・FAX	新 取締役社長 出原 忠 〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目23番31号 電話 052-950-5033 / FAX 052-961-9714 旧 取締役社長 服部 弘司 〒466-0025 名古屋市昭和区下横町1-4 電話 052-852-3771 / FAX 052-852-6625

賛助会員

年月	会員名	異動(変更)事項	異動内容
29.11	蔵王産業(株) 名古屋営業所	登録者	新 名古屋営業所長 下田 覚 旧 名古屋営業所長 三俣 眞一
	ペンギンワックス(株) 名古屋支店	登録者	新 名古屋支店長 西村 達也 旧 名古屋支店長 榎木 正
	ケルヒャージャパン(株) 名古屋支店	登録者	新 名古屋支店長 藤村 生寿 旧 名古屋支店長 栗原 岳

賛助会コーナー

ユニフォーム専門店

FUKAO

仕事をするんだったら
オシャレな制服の会社がいいよね



詳しくは下記ホームページのビルメン
清掃 警備コーナーまで
www.fukao-syokai.com

株式会社 深尾商会
連絡先: E-mail / info@fukao-syokai.com /
電話: (052) 262-0771 深尾まで

事務局だより

◇外国人実習生

最近「外国人技能実習生」という言葉をよく耳にします。今年の5月からはメイク作業(客室整備作業)も認可され、今後ますます雇用が進んで行くと思われます。この外国人実習生について雇用している現場の責任者に評判を聞いたところ「作業を覚えるまでは大変ですが、覚えてしまえば作業も早く、特に実習生の人の「笑顔」の評判が良い」ようです。「笑顔」は人に、「誠実さ」を伝え、周りに明るい空気を広げると言われています。その笑顔がどこから育まれるかと実習生の方を見てみると「笑う回数」があの笑顔につながっているのではないかと思います。愛知協会では2月に労働安全衛生大会を開催しますが、その講演会の演題が「楽しい職場は笑顔から～笑いの効用」になると聞いています。髪型や服装を整えるとともに、自分の「笑顔」を整え、楽しく前向きに気持ちよく働き、職場に「笑顔の効用」を育めればと思います。